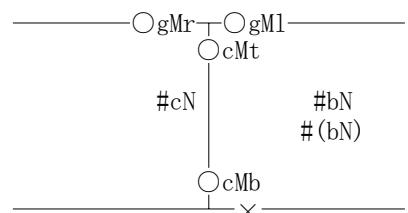


6.2. 崩壊形の決定方法

架構名	正加力時の崩壊形決定理由	負加力時の崩壊形決定理由
Y1	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)
Y2	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)
Y3	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)
Y4	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)
Y5	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)
Y6	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)	崩壊形形成(剛性マトリックスで判定)
X1	層間変形角を超えた	層間変形角を超えた
X2	層間変形角を超えた	層間変形角を超えた
X3	層間変形角を超えた	層間変形角を超えた
X4	層間変形角を超えた	層間変形角を超えた

6.3. 塑性ヒンジ図

<凡例>



- gMl : 梁左端塑性ヒンジは発生順番
 gMr : 梁右端塑性ヒンジは発生順番
 cMt : 柱頭塑性ヒンジは発生順番
 cMb : 柱脚塑性ヒンジは発生順番
 cN : 柱軸降伏発生順番
 bN : 右上がりブレース軸降伏発生順番
 (bN) : 左上がりブレース軸降伏発生順番
 ○ : 塑性ヒンジ
 # : 柱、ブレース軸降伏
 × : 仕口破壊、継手破壊、座屈破壊または梁中央断面破壊

<Y1> 正加力

Z8

